

ヤオコー

2022年3月期第2四半期決算

【連結業績】

(百万円、%)

	2021年3月期第2四半期		2022年3月期第2四半期		2022年3月期 (計画)	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
営業収益	258,456	114.7	269,426	104.2	508,600	100.1
営業利益	15,827	145.6	17,250	109.0	22,300	99.3
経常利益	15,744	146.0	17,000	108.0	21,800	98.1
当期純利益	10,685	149.2	11,406	106.8	14,200	97.3

【単体業績】

(百万円、%)

	2021年3月期第2四半期		2022年3月期第2四半期		2022年3月期 (計画)	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
営業収益	224,926	114.4	235,563	104.7	442,700	100.1
営業利益	14,201	145.5	15,848	111.6	20,000	101.4
経常利益	14,225	145.4	15,705	110.4	19,800	100.0
当期純利益	9,817	147.4	10,782	109.8	13,350	100.3

【ヤオコー既存店売上高、客数、客単価、点数PI値・一品単価対前期比】(%)

	2021年3月期第2四半期		2022年3月期第2四半期	
売上高	113.4		100.6	
客数	91.7		102.6	
客単価	123.5		98.0	
買上点数・一品単価	118.2	104.4	98.3	99.7

ヤオコーの2022年3月期第2四半期決算の連結業績は、営業収益2694億2600万円（前期比104.2%）、営業利益172億5000万円（109.0%）、経常利益170億円（108.0%）、当期純利益114億600万円（106.8%）で増収増益。また、単体でも増収増益となった。

今上期は、新型コロナウイルスの影響により巣ごもり消費が大きく、既存店売上は昨年並みを確保できたことが売上・利益拡大の大きな要因。

また、前期は従業員への慰労金や自治体への寄付、テナントに対する賃料減免などを実施したが、今期はそれらの実施が無いこと。その他、電気料も今期は単価が低く推移していることや広告宣伝費が低かったこと、レジ袋の有料化が2020年7月からスタートしていることなども増収増益要因といえ、前期比で営業利益が14億2300

万円増となった。

■既存店売上高、客数、客単価 前期比 (単体)

売上高 100.6%、客数 102.6%、客単価 98.0%。
買上点数 98.3%、一品単価 99.7%。

昨年は来店回数を減らしまとめ買いが多かったが、今上期はその逆となり、客数が伸び、客単価は下がっている。

既存店売上高4、5月は、昨年の売上が大きかったことにより100%を大きく下回るも、6月にほぼ100%に戻し、その後は前年をクリアしている。また、昨年の9月には店休を1日実施したことにより108.2%と高い伸びとなっている。

※続きは正規版にお申し込み下さい。